

2021年11月11日

## リクルート、セクシュアル・マイノリティに関する取り組み指標 「PRIDE 指標 2021」で最高評価のゴールドを4年連続受賞

株式会社リクルート(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:北村 吉弘、以下リクルート)は、任意団体 work with Pride(ワーク・ウィズ・プライド、以下 wwP)が策定した、企業や団体の LGBTQ などのセクシュアル・マイノリティに関する取り組みを評価する指標「PRIDE 指標 2021」において、最高評価であるゴールドを4年連続で受賞しました。

### 「PRIDE 指標」概要

wwP が「企業・団体の枠組みを超えて LGBTQ が働きやすい職場づくりを日本で実現する」ことを目的に策定した指標です。「Policy(行動宣言)」「Representation(当事者コミュニティ)」「Inspiration(啓発活動)」「Development(人事制度、プログラム)」「Engagement/Empowerment(社会貢献・渉外活動)」の5指標で取り組みを評価するものです。リクルートは、300の企業・団体が応募した「PRIDE 指標 2021」において、最高評価のゴールドを4年連続で受賞しました。



### work with Pride について

企業などの団体において、LGBTQ などのセクシュアル・マイノリティに関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体です。<https://workwithpride.jp/about-us/>

### リクルートの取り組み

リクルートは約60年前の創業以来、大切にしている価値観「個の尊重」に基づき、多様な個人がそれぞれの能力を最大限発揮することで、社会の「不」を解消するサービスの開発を続けてきました。人材のダイバーシティ&インクルージョンの推進は、「個の尊重」の体現そのものであり、競争戦略の一環でもあります。2006年よりダイバーシティ&インクルージョンの専任組織を設置し、育児との両立や柔軟な働き方の支援、介護、セクシュアル・マイノリティなどさまざまなテーマに取り組んでいます。

セクシュアル・マイノリティ支援においては、2017年4月には国内グループ会社9社(現在は株式会社リクルートに統合)において慶弔休暇、休職(介護・育児)などの制度を同性パートナーに適用しました。2019年には、従業員を対象としたコミュニケーションガイドの作成、相談窓口の開設、eラーニングのコンテンツ拡充を行いました(受講対象者の約8割が受講済み\*)。2021年には、6月を啓発月間「Rainbow Month」と位置付け、セクシュアル・マイノリティに対する理解を促進するとともに、性の多様性は誰もが当事者であるという考えのもと「SOGI」(Sexual Orientation: 性的指向と、Gender Identity: 性自認の頭字語)をテーマに従業員向けのセミナーやワークショップを実施しました。これらの活動を通じて、従業員の意識は年々向上しています。今後も「個の尊重」に基づき、全ての従業員が働きやすい環境づくりに取り組みます。

\* 受講対象者: 国内のリクルートグループの従業員のうち、約2万4,000人

本件に関する  
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

## リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人一人のライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、4万6,000人以上の従業員とともに、60を超える国・地域で事業を展開しています。2020年度の売上収益は2兆2,693億円、海外売上比率は約45%になります。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人一人が輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここがない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/>

リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>